

3. 3V アンプ付電源
ブラストシティ対応
改 造 説 明 書

 (株)アールエス

注意

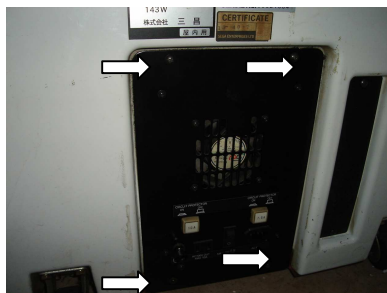
電源を切った状態で作業してください

重要

ブラストシティ電源ユニットは取外さなくてそのまま使用します。
ただしブラストシティ電源ユニット自体の DC 電源及びアンプは使用しないので不良でも構いません。

1. 改造手順

a. ブラストシティの電源プラグを抜いて電源が入っていない状態を確認後フ
ブラストシティ背面の電源ユニットを取外します。



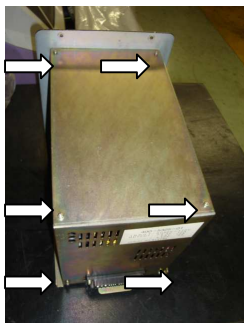
b. 電源 BOX のカバーを外し

取付コネクタ左側黒コネクタ4箇所

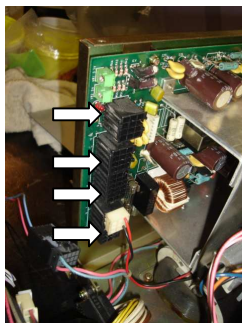
取付コネクタ右側白コネクタ2箇所

を取外します。

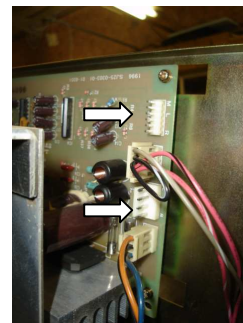
ネジ 6箇所



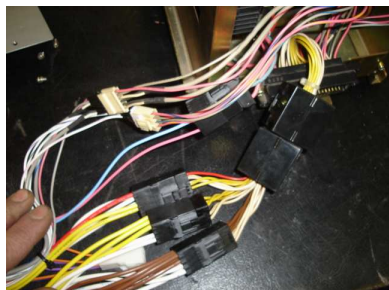
左側 4箇所



右側 2箇所



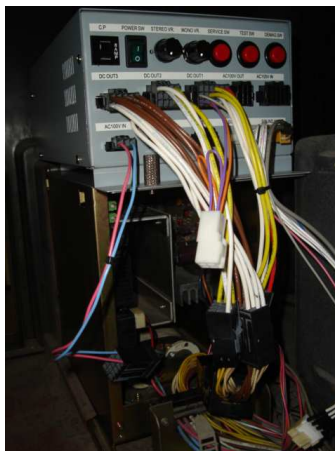
c. 付属のハーネス及び、ベース板を取外したネジ
を利用して取付けてください。



警告

12P コネクター黒 配線黄・白 (DC5V) 配線茶・白 (DC3.3V) は間違いがないように
接続してください。間違った接続は基板を破損する恐れがあります

- d. 逆の手順で配線をはさまない様に電源 BOX を筐体内に取付けます。
 ベース板の上に 3.3v アンプ付電源を差込、つまみネジで止めます。
 コネクターを取付ます。



- e. JAMMA 基板を使用の場合 18P コネクター黒延長部分 4P コネクター白に接続 (SOUND OUT には接続しません。) JAMMA ハーネスを SPEAKER に切替えます



筐体外、内、ドア SW、3.3V アンプ付電源パワースイッチ ON で電源が入ります。音声ボリュームは 3.3V アンプ付電源 mono ボリュームで調整します (テスト・サービス・消磁 SW は筐体内のスイッチを使用します)

- f. JVS 基板を使用の場合 4P コネクター白を SOUND OUT に接続 JAMMA ハーネスを LINE に切替えます

筐体外、内、ドア SW、3.3V アンプ付電源パワースイッチ ON で電源が入ります。音声ボリュームは 3.3V アンプ付電源 STEREO ボリュームで調整します (テスト・サービス・消磁 SW は筐体側のスイッチを使用します)

